

国公立大学法人・学校法人格付け

2010年2月18日

お問い合わせ先：

吉村真木子、東京 電話 03-4550-8368

小林修、東京 電話 03-4550-8494

成松恭多（メディア・コンタクト）、東京 電話 03-4550-8411

プレスルーム(電子メールによる配信、送信トラブル)

電話 03-4550-8411 Fax 03-4550-8740

電子メール tokyo_pressroom@standardandpoors.com日本語ウェブサイト <http://www.standardandpoors.co.jp>
S&P、青山学院を「AA-」に据え置き、アウトルックは引き続き「安定的」
格付け据え置き
AA- 長期発行体格付け

アウトルック：安定的

- 国内有数のキリスト教系私学として、充実した教育内容と高い研究能力、好立地に支えられ、安定的に学生を確保している。キャンパス再配置などにより、経営基盤が強化される見込み。
- キャンパス再配置に伴う投資負担は増加しているものの、安定したキャッシュフローが見込まれることから、健全な財務基盤は維持される見通し。
- 「AA-」の長期発行体格付けを据え置き、「安定的」のアウトルックを維持。

(2010年2月18日、東京=S&P) スタンダード&プアーズは本日、学校法人青山学院の長期発行体格付けを「ダブルA マイナス」に据え置いた。アウトルックは引き続き「安定的」である。

日本有数のキリスト教系私学として、充実した教育内容と高い研究能力、好立地に支えられ、一貫校も含め安定的に学生を確保している。同校の大学の一般入試の志願者数は他大の動向による影響をやや受けやすい傾向にあったが、近年は学部再編と入試改革の成果もあり、中期的に増加基調にある。2010年度入試の志願者数は現時点のデータでは前年度比 2%の微減となっているが、これは前年度に志願者数が大幅に増加したことによる隔年現象の範囲と考えられ、同校の学生獲得力自体に大きな変化はないとスタンダード&プアーズは考えている。2012年4月に青山キャンパスに人文・社会科学系学部を集約する計画である。スタンダード&プアーズでは、このキャンパス再配置は同校の学生獲得力にポジティブな影響を及ぼす可能性が高く、中長期的に同校の事業基盤の強化につながると考えている。さらに、経営陣のリーダーシップの下、174項目にわたる課題を掲げ、その解決に向けた取り組みを始めている。一貫校を含む教育体制のあり方から、ガバナンス、財務までが網羅された課題の解決がスピード感を持って進められれば、経営基盤の一層の強化につながるだろう。

厚い手元流動性と引当資産に支えられ、実質無借金の良い財務体質を維持している。青山キャンパスの再開発により、当面、高水準の設備投資が続く見通しだが、主に経常的なキャッシュフローからの積み立てで賄われるため、有利子負債に大きく依存することにはならないとスタンダード&プアーズは考えている。金融危機後の市場の混乱を受け、資産運用収入や運用資産の時価評価額は減少しているが、現時点では格付けには影響しないとスタンダード&プアーズはみている。1) 従来、帰属収入（総収入）に占める資産運用収入の割合は 3%程度と低く、運用収入の減少が収支を大幅に圧迫することはない、2) 金融危機後に資産運用方針を一段と厳格に見直し、リスク管理を強化している、3) 資産運用の多くは長期投資であり、青山キャンパスの再開発の資金計画に充当されるものではない、4) 簿価の非

常に低い株式を保有するため、運用資産の評価額の減少が比較的小幅にとどまっている一ことなどがその理由である。

アウトルックは「安定的」である。同校は今後も日本の私学教育機関のなかで高い競争力を維持するとスタンダード&プアーズはみている。青山キャンパスの再開発に伴う設備投資負担増にも対応可能な財務余力を有している。将来的な格上げに向けては、1) 青山キャンパスへの経営資源集中と 174 項目の取り組みに代表される改革を通じて、事業基盤の明確な強化が図られる、2) 財務の健全性が一段と高まる一ことなどが要件となろう。一方、競合激化で学生獲得力や学力値が低下したり、非常に積極的な投資計画がとられ財務面での負担が増大した場合には、格付けに下方圧力がかかろうが、現時点ではその可能性は低いと考える。

<関連レポート>

2007年6月19日付「Criteria: Higher Education」(英語版のみ)

* 上記のレポートは S&P の英語情報サービス商品 (年間契約制) およびウェブサイトに掲載されています。情報商品の詳細、または個別レポートのご購入については、営業・クライアントサービス (電話 03-4550-8711、clientservices_japan@standardandpoors.com) まで。

<英語情報サービス商品>

Ratings Direct(レーティングス・ダイレクト): www.globalcreditportal.com.

<英語ウェブサイト>

www.standardandpoors.com

スタンダード&プアーズは、マグローヒル・カンパニーズ(NYSE:MHP)の子会社であり世界の金融市場に対して独立した立場から、信用格付け、株価指数、リスク評価、株式リサーチ、データなどを提供している。23カ国にオフィスを構え、世界の金融インフラストラクチャーのなかで重要な役割を担っている。投資や金融取引の意思決定に不可欠な情報である独立したベンチマークの提供者として、150年近くにわたって主導的な立場にある。詳細は当社日本語ウェブサイト(www.standardandpoors.co.jp)まで。

マグローヒル・カンパニーズは、スタンダード&プアーズ、ビジネスウィーク、マグローヒル・エデュケーション、J.D. パワーなどを通じて、金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供する、国際的な情報サービス企業である。世界40カ国に280カ所以上の拠点を有している。詳細はウェブサイト(www.mcgraw-hill.com)まで。

格付けを商業目的でスタンダード&プアーズの有料情報サービスに類似したデータベースに蓄積したり、自動的に配信することを禁止します。